

平成30年度第1回学校評議員会記録

- 1 日 時 平成30年7月2日（月）10：30～11：45
- 2 場 所 本校南講義室
- 3 出席者 竹村祥子 評議員、 早坂 將 評議員、 小宮山 晴夫 評議委員、
神部伸也 評議員、 沼田 美也子 評議委員
佐藤 一義 校長、 嶋 隆 副校長、 藤田 幸一 事務長、
勝又 慎介 教務主任、 三浦 穰 生徒指導主事、 及川 満 進路指導主事、
葛西 崇 総務主任、 久保 幸 総務課担当

4 内 容

(1) 開会

(2) 校長挨拶並びに学校経営方針説明

(3) 本年度学校概況等説明

1 秩序ある生活態度の育成安全教育の徹底

(学校評議員)

- ・自転車で並走や逆走、歩行者のすぐそばをスピードを出して走行するなど、マナーの悪い高校生の姿を見かける。ルールが何のためにあるのかということについてや、ルールを守ることにについて指導をしてほしい。
- ・交通安全啓発ポスターの掲示など、工夫している様子が見られる。

2 主体的学習態度の育成と学力向上の推進

3 学習指導内容の精選と指導法の工夫・改善

4 自己実現を見据えた進路指導の充実

(学校評議委員)

- ・共通テストに向けて、1年生と2、3年生に指導体制の違いはあるのか。

→1年生は活動の実績をしっかりと記録していく必要がある。大学毎の英語の外部試験の扱いなど、まだ見えてこない部分があるが、思考・判断・表現力を養う方向へ向けて学校全体で取り組んでいる。

5 部活動の振興と生徒会活動の活性化

6 家庭・地域との連携と地域に開かれ、信頼される学校づくりの推進

7 「チーム盛北」としての組織対応とコンプライアンス意識の醸成

(5) 意見聴取

- 共通テストへの対応など、学校の指導が未来へ向けて変化しながら展開されていると感じた。
- 登校時に挨拶運動をしていると、ほとんどの生徒が挨拶を返してくれる。
- 考える時間を設けるなど、高校の授業が変わってきているのだと感じた。
- 登校時、挨拶をしても返してくれる生徒がほとんどいない。
- 大学入試は個人の責任と意識させてほしい。
- 校舎の老朽化を感じる。
- 学習態度がすばらしい。
- 世界で活躍する人材を育てている。転換期を迎えているが、頑張ってもらいたい。
- 大学入試改革や働き方改革など、この15年くらいで大分変わってきていると感じる。
- 1、2年で結果が出るとは限らない。生徒を長い目で見て頑張らせてほしい。

(6) その他

(7) 閉会